（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	なないろキッズついじ

公表日　令和7年　3月　31日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0%	0%	100%	・時間がある時は、できるだけ外での活動を企画するようにしている。 ・衝立を使っての学習やクールダウンの場の確保に心がけている。	・限られたスペースの中でも、整理整頓に努め、事業所わきのコンテナハウスを有効活用するなど工夫をこらしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	0%	・職員のシフト作成時には、利用定員やこどもの状態を考慮して、職員数を適切に配置し、管理者がチェックしている。	・変更が必要な場合や送迎時等、子どもの支援が手薄にならないよう、できるだけ事前に対応していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0%	0%	100%	・施設内には、子どもに分かりやすい表示を掲示し、自分の靴や持ち物が分かるよう洗濯ばさみで名札を付けている。。	・限られたスペースの中で、衛生面や使いやすさ、バリアフリーを考慮した環境を整えて行く必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0%	11%	89%	・毎日の清掃を欠かさず、手洗いや除菌・換気には十分注意を払っている。 ・活動内容に合わせて、机や道具を移動させ、必要な場を確保している。	・子どもたちの活動空間が狭いため、事業所裏の広場での遊びや施設へのお出かけなど、野外での活動を多く取り入れていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	44%	56%	0%	・集中したい時やクールダウンする時に、使用するコンテナハウスを確保している。	・事業所内に個別の部屋がないため、職員がコンテナハウスへの移動に付き添い、安全体制を整える。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	0%	・目標に向かって全員で取り組んでいくために、日々の打ち合わせや振り返りの時間を確保し、話しやすい職場環境づくりに努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	・保護者アンケートを年に一度行い、意向に沿った業務改善ができるように評価結果を共有し、業務の改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	・月に１回の職員会議や毎日の打ち合わせで情報交換する場を設け、意見を出しあうことで業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	・第三者評価の実施はしていないが、七穂会事業所の評価会議に結果を公表し、業務改善につなげている。	・第三者評価の実施はしていないので、今後必要に応じて実施していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	0%	・管理者主催による研修会や外部主催の講演会等、積極的に参加し、職員の資質向上のために、研修の場を確保している。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	0%	・支援プログラムは、文書での配布やＨＰへの掲載を行い、取組内容を家族等へ周知している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	0%	・保護者との情報交換を大切にしながら、計画を作成している。	・子どもの日々の変化に気付くよう、十分配慮しながら見ていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	0%	・計画作成に関しては、常勤職員で内容を検討し、その後の会議や打ち合わせで全職員が共通理解するようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	0%	・定例の職員会議で、子どもの情報交換をする場を設け、支援内容について話題にしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	0%	・保護者にアセスメントシートを作成していただき、子どもの適応行動の状況を把握している。また、日々の様子については、事前に連絡帳でお知らせいただき、内容を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	0%	・個別支援計画は、ガイドラインに沿った形式で、児発管が作成し、より具体的になるように、職員間で吟味しながら支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	0%	・活動内容は事前に計画案を作成し、関係職員で打ち合わせを行っている。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	0%	・子どもの実態に即した活動内容を工夫し、特に、土曜日や長期休業日の活動については、保護者からも好評をいただいている。	・イベント等の企画がマンネリ化しないよう、職員間でアイデアを出し合いながらプログラムを作成していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	0%	・毎日の支援内容は、個別活動と集団活動を組み合わせてパターン化し、集団活動の内容は、子どものリクエストを組み込んで工夫している。	・集団活動が苦手な子どもにも楽しんでもらえるよう、日々改善を試みていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	0%	・支援開始前に、担当職員全員で顔合わせをし、その日の支援内容を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	78%	22%	0%	・支援終了後には、子どもの様子を記録し、成長が見られた点やさらに工夫が必要な支援について話し合い、情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	0%	・日々の様子等を個別のサービス提供記録として職員が記録し、共有しながら、支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	0%	・定期的なモニタリングを行い、関係職員で計画を見直しが必要かどうかを検討し、サービス計画を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	0%	・個々に応じた活動や創作・交流の場をバランスよく組み合わせながら支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	0%	・おやつや振り返りタイム等、活動の中で自分で考え、選択できる場を多く設定するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	0%	・管理者や児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	0%	・必要に応じて、ケース会議に参加し、関係機関との連携を大切にしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	0%	・各学校の年間計画・月歴・下校時刻等の情報をもとに事業所の計画をたてている。 ・利用者の学級担任との面談を、当事業所としてお願いしている。 ・子どもの対応については、担当者による会議に出席し、トラブルの発生を防ぐように配慮している。 ・学校迎えの際には、情報共有できる雰囲気づくりを心掛けている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	0%	・就学前に利用していた保育園等には、契約後利用前に、担任と面談をし情報共有しあっている。 ・児童発達支援事業所等と、必要に応じてケース会議を行い、情報共有や児童の理解を深めるようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	0%	・卒業後七穂会の事業所にいく利用者様の情報について共有した。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	100%	0%	0%	・専門機関と連携し、助言や研修を受けて、よりよい支援方法ができるよう努めている。	・必要に応じて、スーパーバイザーの助言や研修を積極的に受ける機会を設ける。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	67%	33%	0%	・公園や公共施設・イベントなどで、障がいのない子どもと活動する機会があれば、積極的に参加するようにしている。	・児童クラブや児童館との交流はないが、必要があれば交流を図っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	0%	・会議等に参加し、情報を密にするよう心掛けている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	0%	・送迎の際にはその日の様子をお伝えしたり、連絡帳をとおして情報交換したりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	0%	・保護者面談で、子どもへの対応の仕方や療育方法について情報交換するようにしている。 ・保護者会では、講師を招待し、家族支援についての話題を提供している。	・家族支援プログラムや家族参加の研修会には、積極的に事業所からも情報提供を行う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	0%	・契約時に、資料をもとに丁寧に説明するよう心がけている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	0%	・ご利用予定表を配布し、サービスを提供する日程を確認するとともに、電話や連絡帳をとおしてご家族の意向をお聞きしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%	0%	・個別の面談を行い、支援計画の内容を確認していただいてからサインをお願いしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	0%	・保護者面談で、悩みや相談があった場合は、お話をよく伺い、必要に応じて、助言やできる範囲での支援方法の提案をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	0%	・保護者会を開催し、保護者同士の連携を図っている。また、市からの文書等の案内をだして、保護者同士が連携しやすい機会を設定している。	・きょうだい同志で交流する機会は設定していないが、事業所内でのご利用はあるので、必要な支援を考慮していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	0%	・日頃から丁寧な対応を心がけ、苦情があった場合は、正確な情報収集を行い、迅速かつ適切な対応を行うようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	0%	・毎月のお便りに、連絡や行事予定・活動の様子等を掲載して発行している。また、個人の便りも発行し、事業所での様子を伝えている。また、必要に応じて、活動の計画を事前に配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%	・個人情報が流出しないよう、同意書を交わすとともに、写真の掲載や文書の扱い、ホームページの作成には細心の注意を払っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	0%	・日々の子どもたちへの支援では、分かりやすい説明、見やすい掲示や提示、温かい言葉がけ等を心掛け、保護者との会話を大切にしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	89%	0%	11%	・事業所の行事に地域の方を招待していないが、事前に地域のイベント内容を調べ、利用者が地域のイベントに積極的に参加するようにしている。	・地域に開かれた事業運営を図るため、今後も積極的にイベントに参加し、地域住民への招待等、行事の改善にも努めていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	0%	・マニュアルを作成し、職員に周知して訓練を実施している。 ・必要に応じて、対応マニュアルに沿った文書を保護者に配布している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	0%	・ＢＰＣを策定し、年3回の避難訓練、必要な訓練や研修を実施している。	・策定した計画をもとに、今後も検討改善を継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	0%	・契約時に、服薬や発作等に該当する子どもの状況を確認し、詳しく聞き取るとともに、アセスメントシートに記入された内容を確認し、職員全員で情報共有している。	・子どもの命を守るため、今後も保護者・学校・医療機関との連携を密にしていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	0%	・保護者や学校からの報告により、食物アレルギーのある子どもの情報は、全職員に周知し、適切に対応するようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	0%	・非常時の避難場所と避難方法を子どもに分かりやすく指導し、定期的に訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%	0%	・安全計画は、文書での配布やＨＰへの掲載を行い、取組内容を家族等へ周知している。	・家族への周知だけでなく、引き渡しが必要な場合の訓練の実施を今後検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	0%	・ヒヤリハットの事例を職員会議等で出し合い、事故の未然防止に向けた対応について、情報を共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	0%	・外部研修に参加し、研修内容を職員に文書等を使って指導伝達している。 ・七穂会の虐待防止委員会を受け、事業所内で定期的に研修会を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	0%	・七穂会の規定を受け、事業所として必要がある場合は、サービス計画に記載するようにしている。	